

GUCCI

スタンダード ウォッチ
取扱説明書

GUCCI

操作説明

クォーツムーブメント搭載の時計の操作方法

クォーツ 2 針

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

時刻合わせ：リューズをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。



クォーツ 2 針+日付

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

日付合わせ：リューズをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

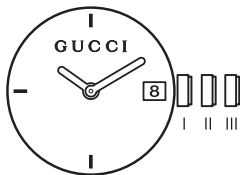
日付合わせの際にも、ウォッチは動作し続けるため、時刻を合わせ直す必要はありません。

時刻合わせ：リューズをポジションIIIに引き出し、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：午後8時から午前2時の間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントが損傷する恐れがあります。



クォーツ 3 針+日付

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

日付合わせ：リューズをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

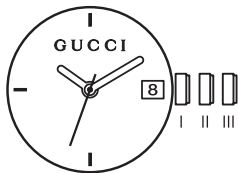
日付合わせの際にも、ウォッチは動作し続けるため、時刻を合わせ直す必要はありません。

時刻合わせ：リューズをポジションIIIに引き出し（秒針は停止します）、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：午後8時から午前2時の間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントが損傷する恐れがあります。



クォーツ 3針+日付表示、ムーンフェイズ

ポジションI：ねじ込み位置（ウォッチは作動中）

ポジションII：クイック日付設定位置

クイック日付設定の機能は、おおよそ午後9時30分から深夜0時の間はロックされています。

リューズをポジションII（ウォッチはまだ作動中）まで引き出します。

リューズを回して現在の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

ポジションIII：時刻調整位置

リューズをポジションIII（ウォッチは停止）まで引き出します。

リューズを回して現在の時刻に合わせます（注意：このウォッチは24時間表示です）。

リューズをポジションIに押し戻します。

ムーンフェイズ表示の設定

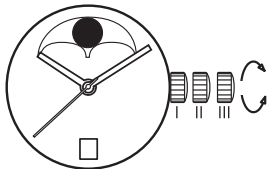
ムーンフェイズ表示にはクイック設定機能はありません。

リューズをポジションIII（ウォッチは停止）まで引き出します。

リューズを回して針を進め、現在のムーンフェイズに合わせます。

リューズをポジションIIまで押し戻し、クイック設定機能で現在の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。



クロック

リューズA - アラームの設定：リューズAをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りに回して希望のアラーム時刻に合わせます。

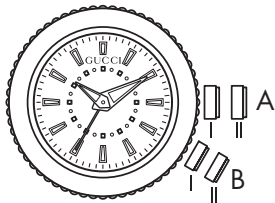
アラーム ON：リューズAをポジションIIに引き出すと、アラームが作動します。

アラーム STOP / OFF：リューズAをポジションIに押し戻すと、アラームが作動解除されます。

リューズB - 時刻の設定：リューズBをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズBをポジションIに押し戻します。

通常の使用時：リューズBはケースに密着したポジションI。



クォーツ クロノグラフ

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

日付合わせ：リューズをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付合わせの際にも、ウォッチは動作し続けるため、時刻を合わせ直す必要はありません。

時刻合わせ：リューズをポジションIIIに引き出し（秒針は停止します）、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：午後8時から午前2時の間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントが損傷する恐れがあります。

クロノグラフ機能では、1/10秒単位での短い時間の読み取りが可能です（最大30分間）。クロノグラフ計測は、常にリューズをポジションIにし実施します。

単純計測

プッシュボタンA：スタート – ストップ、経過時間の読み取り

プッシュボタンB：クロノグラフ針のリセット

合計時間の計測

プッシュボタンA：スタート

プッシュボタンA：ストップ、合計経過時間の読み取り

プッシュボタンA：再スタート

プッシュボタンA：ストップ、合計経過時間の読み取り

プッシュボタンB：クロノグラフ針のリセット

スプリットタイムの計測

プッシュボタンA：スタート

プッシュボタンB：ストップ、スプリットタイムの読み取り、クロノグラフは計時を継続

プッシュボタンB：再スタート、クロノグラフの針は経過時間の位置までジャンプ

プッシュボタンA：ストップ、合計経過時間の読み取り

プッシュボタンB：クロノグラフ針のリセット

クロノグラフ針の初期化

バッテリーを交換した後やウォッチに衝撃が加わった際、クロノグラフの針はポジション0に正しく位置しなくなるため、調整が必要です。

30分カウンター：リユーズをポジションIIに引き出し、プッシュボタンBを押します。

60分カウンター（中央の針）：リユーズをポジションIIIに引き出し、プッシュボタンAを押します。

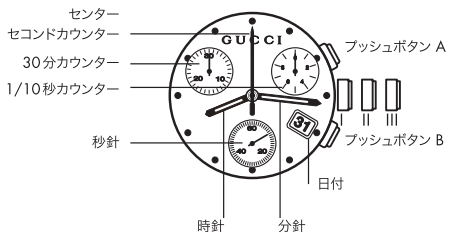
1/10分カウンター：リユーズをポジションIIIに引き出し、プッシュボタンBを押します。

それぞれの針の場合：

プッシュボタンAまたはBを一度短く押すと、1段階ずつ進みます。

プッシュボタンAまたはBを長く押すと、針が進み続けます。

針を初期化した後は、リユーズをポジションIに押し戻してください。



オートマティックムーブメント搭載の時計の操作方法

オートマティック 3 針+日付

オートマティック ウォッチは腕の動きに応じて振動するローターを動力源としています。このローターによってウォッチを巻き上げます。モデルによって異なりますが、パワーリザーブは約40時間です。ウォッチの作動が停止した場合（長時間装着しなかった場合や腕の動きが十分でなかった場合など）には、リューズをポジションIのまま、手で回して巻き上げてください。

注意：時刻表示の精度はウォッチの着用状態によって変化します。

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

日付合わせ：リューズをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

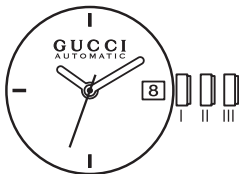
日付合わせの際にも、ウォッチは動作し続けるため、時刻を合わせ直す必要はありません。

時刻合わせ：リューズをポジションIIIに引き出し（秒針は停止します）、リューズを時計回りまたは反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：午後8時から午前2時の間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントが損傷する恐れがあります。



オートマティック ウォッチ、回転式ベゼル、ねじ込み式リューズ

オートマティック ウォッチは腕の動きに応じて振動するローターを動力源としています。このローターによってウォッチを巻き上げます。モデルによりませんが、パワーリザーブは約40時間です。ウォッチが停止した場合(例:長期間、着用していなかった場合や腕の動きが足りなかった場合など)は、リューズをポジションIにし、手で巻き上げを行う必要があります。巻き上げが終わったら、リューズを押し戻すと同時に時計回りに回してケースにねじ込みます。

注意：時刻表示の精度はウォッチの着用状態によって変化します。

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

日付合わせ：リューズを緩め、ポジションIIに引き出します。リューズを時計回りに回して希望の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻してケースにねじ込みます。

日付合わせの際にも、ウォッチは動作し続けるため、時刻を合わせ直す必要はありません。

時刻合わせ：リューズを緩め、ポジションIIIに引き出し(秒針は停止します)、リューズを反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻してケースにねじ込みます。

どの調整後もウォッチの防水性を確保するため、リューズがケースにねじ込まれていることを確認してください。

日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：午後8時から午前2時の間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントが損傷する恐れがあります。

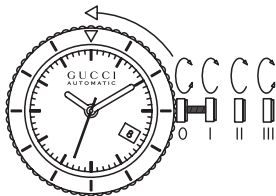
時間の個別計測（回転式ベゼル）

回転式ベゼルの夜光付きのマークを分針に合わせます。

回転式ベゼルの分目盛りで経過時間を確認することができます。

重要事項

最大で300メートルまでの防水機能を備えていますが、潜水用のダイバーズウォッチとして用いることはできません。



クロノグラフ付きオートマティック ウォッチ

オートマティック ウォッチは腕の動きに応じて振動するローターを動力源としています。このローターによってウォッチを巻き上げます。モデルによりませんが、パワーリザーブは約40時間です。ウォッチが停止した場合(例:長期間、着用していなかった場合や腕の動きが足りなかった場合など)は、リューズをポジションIにし、手で巻き上げを行う必要があります。

注意：時刻表示の精度はウォッチの着用状態によって変化します。

通常の使用時：リューズはケースに密着したポジションI。

日付合わせ：リューズをポジションIIに引き出し、リューズを時計回りに回して希望の日付に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付合わせの際にも、ウォッチは動作し続けるため、時刻を合わせ直す必要はありません。

時刻合わせ：リューズをポジションIIIに引き出し(秒針は停止します)、リューズを反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

リューズをポジションIに押し戻します。

日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：午後8時から午前2時の間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントが損傷する恐れがあります。

クロノグラフ機能では、1/10秒単位での短い時間の読み取りが可能です(最大12時間)。クロノグラフ計測は、常にリューズをポジションIに実施します。

単純計測

プッシュボタンA：スタート – ストップ、経過時間の読み取り

プッシュボタンB：クロノグラフ針のリセット

合計時間の計測

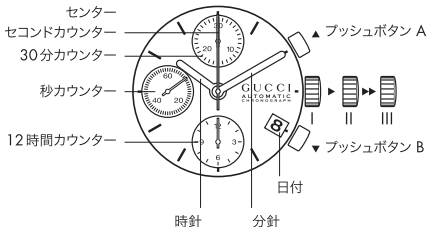
プッシュボタンA：スタート

プッシュボタンA：ストップ、合計経過時間の読み取り

プッシュボタンA：再スタート

プッシュボタンA：ストップ、合計経過時間の読み取り

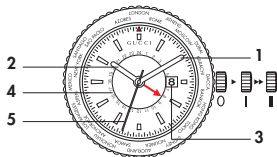
プッシュボタンB：クロノグラフ針のリセット



GMT機能およびシティディスク付きオートマティック ウォッチ

画面表示と機能

- 1 分針
- 2 時針
- 3 日付
- 4 24 時間サークル
- 5 秒針



リューズおよびプッシュボタン

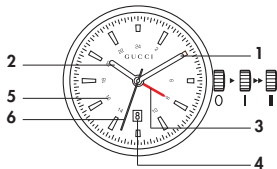
- 0 巻き上げ位置
- I 日付およびタイムゾーン調整位置
- II 時刻調整位置

GMT (グリニッジ標準時) 機能により、2つのタイムゾーンを同時に表示することができます。第1のタイムゾーンは2本のホホワイトの針で表示されます。第2のタイムゾーンはレッドの針で表示されます。ベゼルを回転させて12時位置のレッドトライアングルマークに第2のタイムゾーンの都市を設定します。

GMT機能付きオートマテック ウォッチ

ディスプレイと機能

- 1 分針
- 2 時針
- 3 第2タイムゾーン針
- 4 日付
- 5 24時間サークル
- 6 秒針



リユースおよびプッシュボタン

- 0 巻き上げ位置
- I 日付およびタイムゾーン調整位置
- II 時刻調整位置

GMT(グリニッジ標準時)機能により、2つのタイムゾーンを同時に表示することができます。第1のタイムゾーンは2本のホワイト針で表示され、第2のタイムゾーンはもう1本の針で表示されます。この針で、選択された第2タイムゾーンを24時間表示で示します。

GMT - グッチ 24 タイムゾーン ウォッチの操作方法**ステップ 1：日付の即時修正**

リューズをポジションIに引き出し、反時計回りに回して前日の日付を表示させます。リューズをポジション0に押し戻します。

注：この操作中、ウォッチは動き続けますので、時刻を調整する必要はありません。

ステップ 2：日付のセット

リューズをポジションIIに引き出し、ホワイトの針を時計回りに回して（リューズは反時計回り）希望の日付に合わせます。日付は午前0時に変わりますので、午前/午後を確認して針を合わせてください。

注：リューズをポジションIIに引き出すと、秒針は停止します。

ステップ 3：時刻のセット

ポジションIIに引き出したリューズで日付を設定したら、ホワイトの針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。リューズをポジション0に押し戻します。

ステップ 4：タイムゾーンのセット

タイムゾーンをセットするには、リューズをポジションIに引き出し、時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

第2のタイムゾーンの都市をセットするには、ベゼルを回転させて12時位置のレッドトライアングルマークに合わせます。

注意：ムーブメントが損傷するおそれがありますので、午後8時から午前2時の間は日付の修正を行わないでください。